



みつくら



《 北米産大豆 》

11/12 年米国大豆需給、期末在庫発表

アメリカ農務省がこのほど発表した、11/12 年度の米国大豆需給予測は、前月に続き供給・需要共に変動無く、期末在庫も 2 億 7,500 万ブッシェル（在庫率 9.1%）に 3 ヶ月連続で据え置かれました。

大豆油の需給予測は国内需要の減少により、期末在庫を上方修正、大豆かすは供給量が上方修正された一方で、国内需要・輸出とも前月から増加した事から相殺され、期末在庫は据え置かれています。

12/13 年アメリカ農業生産者作付意向調査結果

アメリカ農務省が 3 月 30 日に発表した 12/13 年度の作付意向調査によると、大豆の作付意向面積は前年比 1% 減の 7 3 9 0 万 A (2 9 9 0 万 h a) でした。市場の予想では、増加か前年並みであったために驚きが広がり、同日のシカゴ相場では、期近物が 7 ヶ月ぶりの 1 ブッシェル 1 4 ドル台に乗りました。また、トウモロコシの作付意向面積は、前年比 4% 増の 9 5 9 0 万 A (3 8 8 1 万 h a) と 1 9 3 7 年以来の高水準となり、相対的に価格の高いトウモロコシへの転作を反映したようです。

ただ、アメリカ国内の在庫が前年同期比で減少していることや、南米産大豆の不作予想、最大消費国の中国での需要が堅調であることなどから、「大豆先物は目先は堅調に推移する」との見方が目立っています。その一方で、先物の上昇を見た生産者が実際には大豆の作付を増やす可能性もあり、1 ブッシェル 1 5 ドル台への上昇を予測する声は少ないようです。

1 ブッシェルは約 2 7 . 2 k g



《 中国産大豆 》

中国撰別工場視察

4 月初旬に弊社の浅利が、良質な原料の年間を通じた安定供給と、撰別品質の更なる向上と安定化を図る為、中国にある大豆撰別工場を訪問してまいりました。今後もより一層、安心・安全で、品質の良い大豆を皆様にお届けしていきたいと思っております。



中央に弊社・浅利と現地従業員の皆さん



上の色撰機を二回通して選別精度を向上させています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1 - 4 - 7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



みつくら



《 国産大豆 》

23年産3月の落札状況

平成23年産国産大豆の3月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数11,856.7トンで、落札が6,212.6トン、落札率が52.4%という結果となりました。

また、2月と比較すると、平均落札価格は、60kg / 423円上昇しました。現在この平均を引き上げているのは主に西日本の銘柄ですが、今後は高値銘柄を敬遠して、価格が比較的安定推移している東日本の銘柄を物色する動きや、輸入大豆へとシフトが強まる可能性があります。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	710.4 t	314.4 t	44.3%
12月	1,875.8 t	1,136.9 t	60.6%
1月	4,252.2 t	2,063.2 t	48.5%
2月	10,787.9 t	6,114.2 t	56.7%
3月	11,856.7 t	6,212.6 t	52.4%
合計	29,483.0 t	15,841.3 t	53.7%

《 トピックス 》

ご存知でしょうか？『にお積み』

『にお積み』とは、豆類の一大産地である北海道で行われている、豆類の乾燥方法です。下記の写真の様に『にお台』という台を組み、刈り取った豆を一定の高さまで積み重ね、上に雨よけのシートをかぶせる。この状態を「にお積み」と言うのだそうです。

この時期に吹く北風にさらすことにより、ゆっくりと水分量を減らしていくこの「にお積み」による自然乾燥の大豆は、現在主流となった収穫方法のコンバイン刈入れ、機械乾燥と比較して、ムラ無く乾燥させられて見た目も良く、また味も良くおいしい、とこだわってこの手間のかかる方法を選択する生産者の方もいるそうです。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1 - 4 - 7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>